



かわにし

精華町立川西小学校

検索

学校だよりはHPで
カラーで見れます

めざす児童像
よく学び 心豊かで 元気な子
精華町立川西小学校 学校だより
令和7年6月30日 7月号

いよいよ学期末！

校長 竹花 真治



今年は、例年より遅い梅雨入りとなりました。じめじめした日が続いていますが、子ども達は梅雨の合間をぬって、休み時間には、外で元気よく遊んでいます。気温も高くなり、登校時でも、汗をいっぱいかいている子どもをたくさん見ます。学校では、体育時の水分補給時間、エアコンの使用等、WBGT指数（暑さ指数）も注視しながら、熱中症予防に努めています。ご家庭でも、お茶の量や、汗拭きや首の後ろを冷やすタオル、登下校時の日傘（推奨しまわ）等、熱中症防止に、ご協力よろしくお願いいたします。



「火の神」から火を授かる！

6月も子ども達はがんばりました。6月6・7日は、5年生の林間学習でした。天気にも恵まれ、2日間にわたるプログラムをきっちりやり遂げ、一回りも二回りも遅くなったように思います。友達と協力し山道を歩いたクイズラリー、みんなで盛り上がったキャンプファイヤー、共に宿泊したこと、カレー作り…等、子ども達の心に残る行事になったことでしょう。

11日は、文化鑑賞会「川西コンサート」がありました。音楽鑑賞が中心ですが、部分的に児童の出番や体験コーナーなどがあり、本物の音楽に触れながらも、楽しい会となりました。6年生は、今、関西万博と同時進行で行われている「けいはんな万博」のテーマソングを合唱しました。きれいな声が体育館に響き渡り、フィナーレを飾ってくれました。



体育館に響いた6年生の合唱！

早いもので明日から7月、いよいよ学期末です。

学期を振り返る際、私も親として、学校に子どもを通わせていた時期は『学習の記録』を中心に、子どもと話をしていたと思います。「評定の数字は何か？」「◎があるか」…など、学習面の評定・評価で、学期末に我が子に「指導的」になることが多々ありました。通知表等で振り返る際、テストの点数や作品への評価など、点数に表れる「認知能力」の評価も大切ではありますが、そのことだけに目を向けず（自分がしていたことですが…）、作品づくりに「粘り強く取り組んだ」「友達と協力」して下級生を楽しませた…、など、点数には表しにくい『生活の記録』『非認知能力』への評価も、とても大切に思います。（下記参照）

川西の子ども達は、朝の校門での挨拶では、私に対してとても大きな声で挨拶してくれます。廊下であっても、笑顔で挨拶をしてくれたり、和やかに話をしてくれたりします。この姿を「コミュニケーション力」という捉え方をしたとき、私から見て、本校の子ども達は、みんなすばらしく、誉めるところがいっぱいです。相手に何かを伝えることのできる力（非認知能力）は、日々の学習（認知能力）にもつながっていきます。

おはようございます!!



7月11日からの個別懇談では、1学期の成長を確かめ合い、「子どもを伸ばす」という、共通の目的のもと、担任としっかり連携をとっていただき、今後に向けた、有意義な話し合いの時間にいただければと思っています。



～ 非認知能力を育てる ～

非認知能力とは、生きていく上で、力を積み上げていくために素地となる力、子どもの人生を豊かにしていく力などともいわれ、京都府教育委員会「学校教育の重点」にも、『認知能力と非認知能力を一体的に育む教育の展開』を大切にするよう謳われています。

認知能力は端的に言えば、テスト等で、点数で図ることのできる力です。一方、非認知能力は点数で表すことはできませんが、その内容は様々なものがあります。子ども自身が自分の意志で行動する力、好きなものに夢中になる力、意欲、主体性、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、創造性、コミュニケーション能力等…、どれも点数では表れませんが、生きていくうえで大切な力です。



では、どうすれば育っていくのか…？ これらの力は、日常の、様々な体験を通して培われていくと考えられます。友達と仲よく遊べていたり（協調性）、1人で粘り強くものを作り上げていたり…、子どもが頑張っている場面を見つけたら、賞賛の一言が、これらの力を育てていくことにつながります。当然のことながら、急に高まるものでもありません。日常的な賞賛、大切にしたいものです。

水泳学習が始まりました



梅雨真ただ中ですが、雨もあまり降らず、連日快晴の中、水泳学習が始まりました。子ども達は、暑い中、練習を頑張っています。

学習指導要領には、低学年は「水遊び」から始まり、まずは水に慣れ、中学年から「水泳運動」とし、初歩的な泳ぎを習得、高学年では、技能面の最終目標として「クロール・平泳ぎで、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと」としています。また、「安全確保につながる運動」では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこととしており、6年生の最後には「着衣泳」を実施する予定です。

陸上の運動では、短距離を走る時とマラソンの練習では、明らかに動きに差がありますが、水泳も同じです。最終目標にある「続けて長く泳ぐ」ための泳ぎ方は、陸上でいう「歩く～ジョギング」ぐらいの力の入れ方になります。息が持たない！早く壁までいきたい…と、力みがちになる子が多いですが、ゆったりと長く泳げるように、練習を頑張ってもらいたいものです。

（雨天等で延期になり、二日続きの日程もあります。水着の洗濯・乾燥等にご協力お願いします。）

